

2016 FIA世界選手権シリーズ第17戦 F1 日本グランプリレース開催レポート



資料枚数 11 ページ

2017年1月6日

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

■2016F1日本GP テーマ『THE 1 AND ONLY』

世界屈指と言われるコースが生み出すドラマチックなレース展開、鈴鹿ならではのイベントへの驚き、地域の皆様と一体となったおもてなし、そして、会場全体がひとつになって盛り上がることでできる観戦環境をご用意し、鈴鹿サーキットだけで体感できる数々の感動が紡ぎだす、F1シリーズの中でも特別なグランプリとして、世界中のファンから愛される“SUZUKA”の実現に取り組みました、

THE 1 AND ONLY
SUZUKA 2016 GRAND PRIX

①McLAREN HONDAとして、2年目の母国グランプリ

戦闘力を高めたMcLAREN HONDAでしたが、レース結果は入賞に届かず、残念なカタチとなりました。



②F1ドライバーがもっともファンと近づくグランプリとして“さらに”進化。

日本の熱狂的なファンの期待に応え、F1ドライバーが鈴鹿サーキット主催イベントや地元小学生との交流イベントに参加いたしました。



ドライバーを活用したイベントコンテンツを拡大進化することで、コアファンだけではなくF1ブーム体験層ファミリーへの来場訴求に取り組みました。また将来のファンとなるファミリーに対して、イベントコンテンツ開発に取り組みました

≫ターゲット:F1ブーム体験層とそのファミリー

① F1ドライバーとお子様ที่触れ合えるコンテンツの実現



② お子様がモータースポーツ&F1に興味を持つためのイベント



③ 展示 & デモンストレーション企画: Ferrari Formula 1 Exhibition



F1ウィーク全体での盛り上げイベント(木曜 & 月曜)

4/11

2年ぶりの三連休開催となる日本GPにおいて、F1公式スケジュール以外の木曜・月曜もイベントを開催。木曜は地元小学校もピットウォークに参加。昨年よりも多くのF1ドライバーたちが小学生との交流に参加してくれました。

木曜(地元小学生交流、ピットウォーク、東コースウォーク)

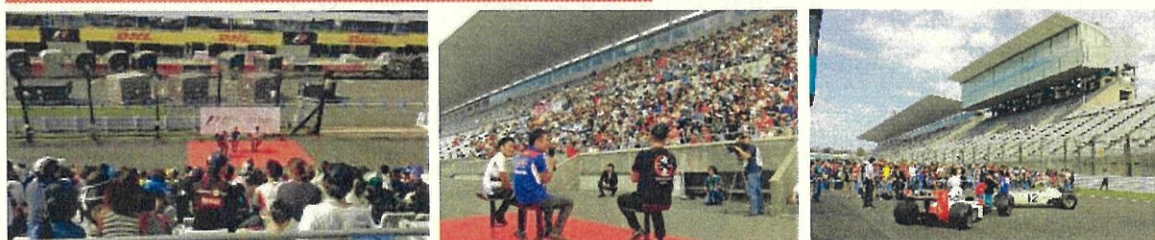


出典: <http://suzuka21.com/report/>

	2014年	2015年	2016年	前年差
学童ピットウォーク	9校 635名 うち6校が交流プログラム参加	5校 495名 全校が交流プログラム参加	7校 460名 全校が交流プログラム参加	+2校 ▲35名

月曜(佐藤琢磨・松下定治キッズミーティング、ストレートウォーク)

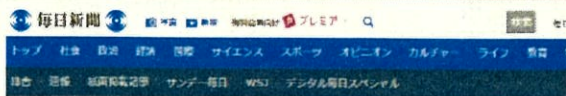
月曜動員: 2015年 6,000名⇒2016年 9,000名



日本グランプリは、世界のグランプリとは異なる演出で お客様、そしてF1ドライバーたちを楽しんでいただいております。これも『THE 1 AND ONLY』です。

戦いぬいたドライバーを迎えよう！8万人のチェッカーフラッグ

出典: <http://mainichi.jp/>



【8日】F1日本グランプリ決勝レースが鈴鹿サーキットで開幕した。

自動車

鈴鹿ニュースはこちら

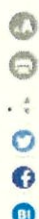
F1 日本GP決勝 チェッカーフラッグでたたえ 鈴鹿市民応援席、巨大横断幕掲げ応援 / 三重

8月6日 2016年10月10日 14時55分
モータースポーツ / 三重県



F1日本グランプリ（GPF）決勝の8日、鈴鹿サーキット（鈴鹿市南宝町）は約7万3,000人のファンが詰めかけた。3日間の観客数は、4万5,000人で、過去最低だった一昨年の15万人を下回った。

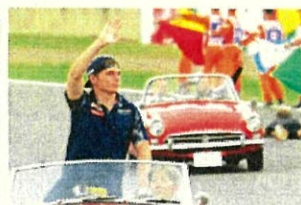
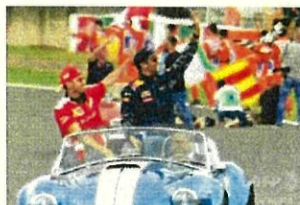
3日コナ村近に設けられた市民応援席では約7,000人が観戦し、優勝2年目を迎えたマックス・フェルスタッペンなども応援した。市民応援席が場内に設けられると、...



チェッカーフラッグ掲げてゴールするドライバーをたたえる観客

ドライバーズパレード

出典: <http://www.afpbb.com/>



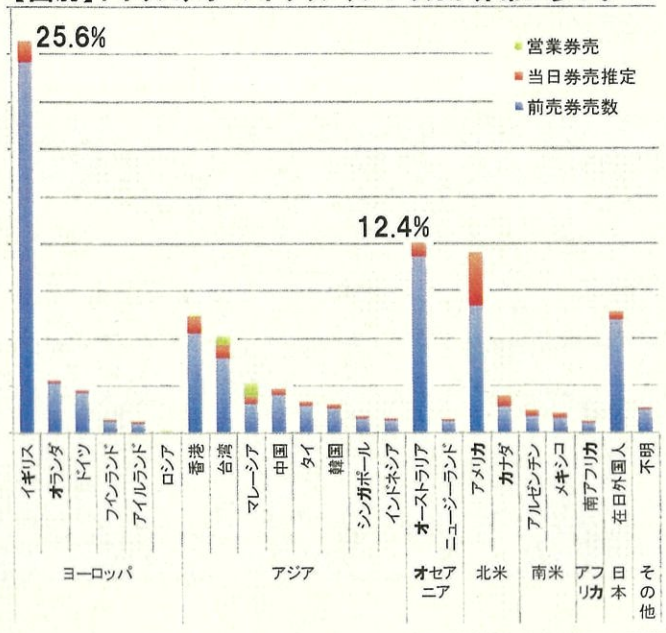
2016年の総括

■2016年の総括

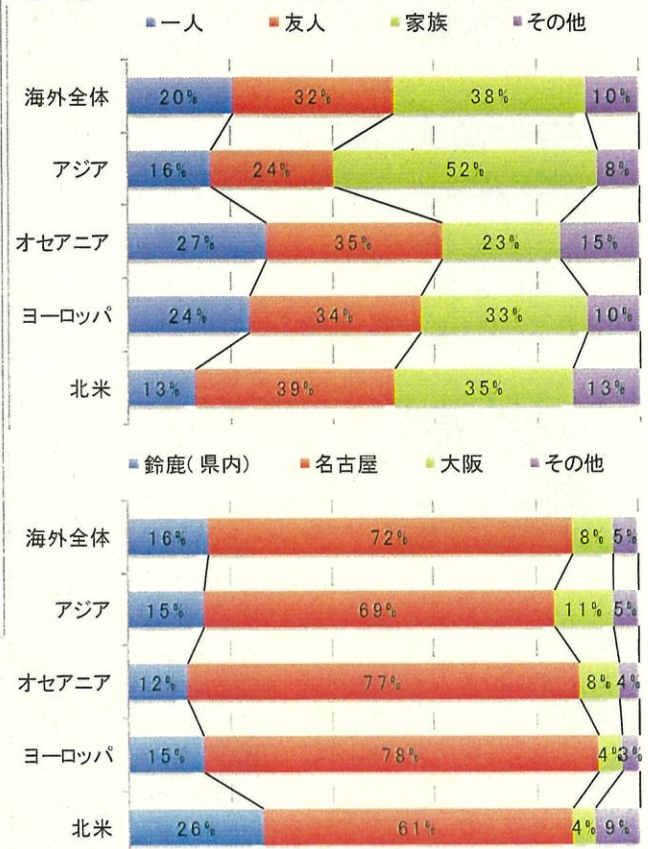
- ①F1地上波・BS放送の減少によるF1日本GP認知度の低下により、動員は減少。
- ②海外からの来場者 約5,400名。（前年約3,000名より80%以上増）
※石井国交大臣にも来場いただき、インバウンド観光商品として認知・理解していただきました。
- ③地元小学生の木曜参加数は昨年から学校数増加も、鈴鹿市外からの参加無し。
- ④中勢バイパス パス専用道運用など地域一体となった受入。
- ⑤鈴鹿市民応援席 2014年746枚 ⇒ 2015年856枚 ⇒ 2016年820枚
※2016年よりふるさと納税での御礼品として、採用。実績30枚(上記820枚に含む)

動員数	2014年	2015年	2016年	前年差
10月6日(木)	8,000名	8,000名	8,000名	±0名
10月7日(金)	30,000名	30,000名	27,000名	-3,000名
10月8日(土)	48,000名	54,000名	46,000名	-8,000名
10月9日(日)	72,000名	81,000名	72,000名	-9,000名
10月10日(月)	イベント中止	6,000名	9,000名	+3,000名
合計	158,000名	179,000名	162,000名	-17,000名

【国別】イギリス、オーストラリア、アメリカが非常に多い。

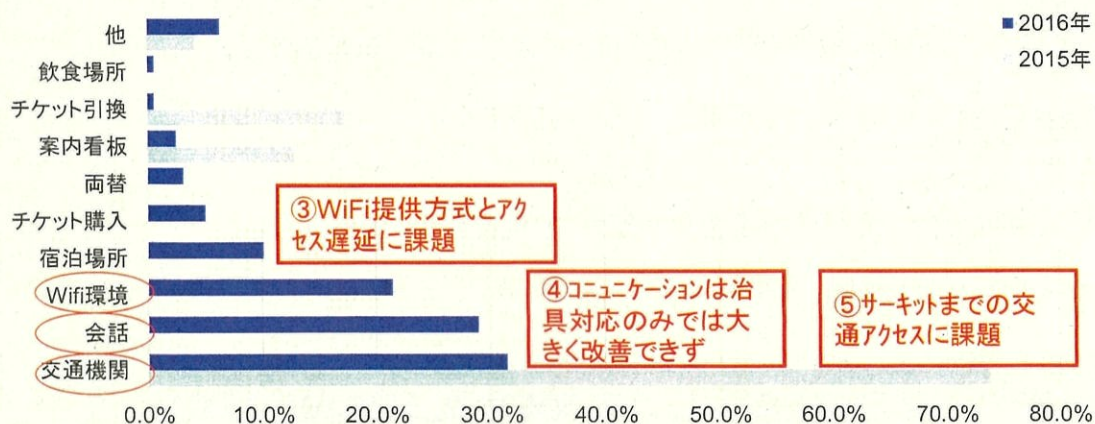


【誰と】アジアからの来場者は家族同伴が5割以上。



【宿泊地】
三重県内は前年8%から倍増も、
70%が名古屋宿泊。

■ 困りごとの分類



1. アクセス (6件)	・名古屋駅の乗換え案内にもっと英語の情報 ・電車の時刻表が日本語 ・より良い鈴鹿サーキットへの行き方を知りたい ・御園駐車場の情報が無い、マップコード提供を ・駅から歩く距離が長すぎる、バス停から歩く距離が長い
2. コミュニケーション (5件)	・並んでいたのに外国人だからFFスタッフに無視され他の日本人に横入りされた ・もっと英語の話せるインフォスタッフ ・チケット窓口の人が説明不足 ・サーキット周辺の英語案内が乏しい、英語案内が乏しい
3. Wifi (2件)	・素晴らしい旅だが、Wifiの整備を ・電話しないと使えないWifiは意味がない、海外ローミングサービスは高く利用しない

ドライバーラインナップやマシン規則の変更により、ここ数年のメルセデス1強時代から勢力図が大幅に変化する可能性大。スポーツとしての魅力が格段にアップする見込み。この変化の中で、McLAREN HONDA 3年目の活躍に期待したい。

■2016年F1日本GP 開催日

2017年10月5日(木)～9日(月・祝)

■2017年F1日本GPを取り巻く環境

①トップチームのドライバーラインナップが大幅に変更

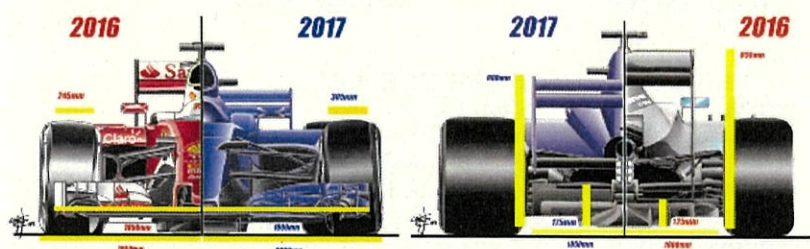
チャンピオンのN・ロズベルグと、McLAREN HONDAのJ・バトンが引退。

②F1マシン規則が大幅に変更

速度向上、ワイド&ローシャーシー、タイヤ幅拡大、シーズン中のエンジン開発復活

③日本人F1ドライバーは不在

引き続き、F1参戦する日本人ドライバーは不在となる。



最後に...

10/11

2017年のF1シーズンは、トップチームのドライバーラインナップ変更やマシン規則大幅改定の話題性やHondaも復帰3年目として、実力発揮が期待されるなど、レースとしての見所が増えることが予想されます。さらに、2016年に引き続きとなる三連休開催も、来場者の長期滞在化への大きな後押しになることが考えられます。

また2014年以降、海外からの来場者が非常に増加している傾向は、今後も続くことが予想され、鈴鹿サーキットとしても、海外におけるPR強化や外国人来場者に対する『おもてなし』に取り組んでまいります。

今後、メディアの皆様のご協力をいただき、今年のF1日本GPの見所を広く発信するとともに、3月のファン感謝デーを皮切りに、F1の魅力をお客様に伝えて、国内外からより多くのお客様を三重県、そして鈴鹿市にお迎えしたいと考えております。

ぜひ鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会の皆様におかれましては、変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(参考)

2017年1月19日(木)

F1日本GP 開催概要発表(リリース)

2017年3月12日(日)より

F1日本GP チケット販売

■F1日本GP(5日間)

10月5日(木)

10月6日(金)

10月7日(土)

10月8日(日)

10月9日(月・祝)

ビットワーク・サイン会

フリー走行

公式予選、前夜祭

決勝

ファンミーティング

THE 1 AND ONLY

SUZUKA 2017 GRAND PRIX



伊藤 潤一 (いとう じゅんいち)

三重県松阪市出身
1986年12月19日生
台湾・国立故宮博物院 国際正会員
みえの文化びと 登録



〔略歴〕

2013年 第20回 清水寺『古と優艶の書画展』
2013年 モントルーアートフェア(スイス)
2014年 永遠の朋友展(台湾・中正紀念堂)
2014年 国際平和美術展(京都市美術館、パリ・ユネスコ本部)
2015年 ミラノ国際博覧会公認「JAPANESE ART TASTING EXPO」(イタリア)
2016年 主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)配偶者プログラム会場演出
※墨は鈴鹿墨を使用